週刊 Yume Express

2020 年 9 月 28 日発行
通算第 8 号

【大丈夫かエアロエース，東京都内で火災事故】

先日，「プラズマクラスターが標準装備」とご紹介したエアロエースが東京都内の中央道で火災事故を起こしていたことがわかった．

写真は事故を起こした車両と同形式，火災事故とは無関係の会社のものだが，このタイプは本当にトラブルが多いという．車両火災事故の例は，新東名高速での東京と名古屋を結ぶ高速バス，徳島道での大阪と松山を結ぶ高速バス，九州にあるバス会社車庫内での高速バス車両，そして今回は中央道での新宿と山梨県内を結ぶ高速バスである．

火災事故の事例は，比較的しっかりと整備をしているイメージのある大手バス会社で目立っている．高速バスとしての運用はバスの中でもかなり過酷なほうではないかと思うので，それに耐えられないほど設計が良くないのかもしれない．エアロエースを製造する三菱ふそうに対し，新型 2 階建てバス「エアロキング」の復活を望む声も上がっているが，既存車両がこうしょっちゅう火災事故を起こしていれば，新型車両の開発をしている場合ではないだろう．

とにかく，いくらプラズマクラスターを標準装備していてコロナウイルス対策は万全でも，しょっちゅう火災事故を起こすようでは誰も乗りたくないはずだ．三菱ふそうには原因究明と品質の向上に努めてもらいたい．

【マスクのプレゼントキャンペーン，新たな流行に？】

最近，販売促進キャンペーンで景品としてオリジナルデザインのマスクをプレゼントするというものを見かけた．これは新たな流行となりそうである．

すっかり生活必需品のひとつとなったマスクだが，手作り品でもウイルス対策の効果があるという研究結果も出て，様々なデザインで個性の表現手段としている人も見かけるようになってきた．例えば，スポーツチームのロゴが入ったマスクを着用すれば，それだけで自分がそのチームのファンであることを周囲にアピールできる．

そうしたことから，街角の店に並ぶマスクも機能面だけではなく，デザインで購買意欲を誘う商品もかなり増えてきた．権利上の問題はさておき，社会現象ともいえる人気漫画のキャラクターをイメージしたものも出回っている．

今年限りになるのか，来年以降も続くのかはわからないが，「マスクのプレゼントキャンペーン」は今だからこそ注目を浴びるキャンペーンだと思う．

【A列車で行こう９　今週の記録】

先日から「A列車で行こう９」を再開した．まずは最初のマップ「大都市構想」で 10 兆円を目指してみることにする．

最初に都心と住宅街を結ぶ線路を複線化し，観光地への特急列車を走らせたり，歓楽地への電車をアップグレードしたりした．

次に，歓楽地に子会社を設置して収益を上げるべく，港の周辺に資材工場を設置した．歓楽地へは港から資材が供給されているが，資材工場の資材が余剰になった場合は港からマップ外へ資材を売却して収入を得ることができる．資材工場の周辺にはさらに様々な工場を建設した．さらに従業員の寮として団地も建設したが，赤字になってしまった．どうやら見た目ほど工場の従業員は多くないらしい．その後，歓楽街からバスを運行すると周囲が発展して黒字となった．バスの運行開始以前は，他社物件が建設されてはすぐに消滅するという状況が繰り返されていた．こちらの原因は全くの謎である．

あくまでオブジェとして，住宅街の駅前に「五重塔」を建設したが，年間数百億円という収入になった．いったい収入減が何なのかは不明だが，巨額の利益を生み出してくれるのはうれしい．同様に歓楽街の駅前にはタワービルを建設している．こちらもデパートを超える売り上げが上がっている．

今後の開発についてだが，既存の路線とは全く別に環状線を建設し旅客列車を 24 時間走らせ，資材を供給してとにかく街を大きくしていこうと考えている．

【今週のお持ち帰り「手造り屋　晩酌盛」】

スーパーで売っていたかまぼこ加工品である．きんぴらやコーンなど様々な具が入っており，お寿司などを模した見た目もさることながら栄養バランスにも優れている．それでいて価格は税抜き 300 円程度，カロリーは１パックで 300 キロカロリー程度だ．

見た目も楽しく，酒のおつまみとしての購入を想定しているようだが，ご飯のお供にもぴったりな逸品だ．

発行者：和田岬歳三
Twitter @sakura_z77